



### <簡単にチェックするときは>

1. 運転モードを「冷房」にして、温度を最低温度（16～18℃）に設定し、10分程度運転しましょう。

- ※ 機種によって最低温度は異なります。
- ※ 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？
- ※ リモコンの電池は切れていませんか？

- 最低温度に設定するのは、室温より低い状態にするためです。
- 異常の検知には、最低10分間の運転が必要とされています。

2. 冷風がきちんと出ているか、以上を占めるランプが点滅していないかご確認ください。

### <念入りにチェックするときは>

3. さらに30分程度運転し、室内機から水漏れがないかご確認ください。

- 室外機の心臓部（圧縮機）の確認も必要です。
- 冷媒ガスが内部を循環し、室内機の熱交換器で冷やされ、結露水が出るまでに約30分かかります。

- ※ 屋外のドレンホースから水が排出されていない場合や、室内機のエアフィルターが汚れていると、本体内部の結露水が吹出口から漏れてくる場合があります。

4. 異臭や異音がしないかご確認ください。

◇電気代節約のためにも、フィルターは2週間に1度は清掃をしましょう◇

- ホコリは水洗いか掃除機で吸い取ります。
- 汚れがひどい場合は中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、汚れを落とした後軽く水切りをして日陰でよく乾かします。
- フィルターを外した奥にある、アルミの板が並んでいる部品は熱交換機です。熱交換機のお掃除は、プロに任せましょう！